

渡辺 信和

東京大学 医科学研究所

幹細胞治療研究センター 病態解析領域 領域長/特任准教授

略歴

- 1985年 熊本大学医学部医学科を卒業
同 第二内科（血液内科、高月清教授）へ入局
- 1991年 熊本大学大学院医学研究科生理学博士修了
- 1994年 米国スタンフォード大学へ留学（1998年に帰国）
*FACSの開発者である Herzenberg 教授の下で、マルチカラーFACSによる骨髄移植の病態解析を学びました。
- 1998年 東京大学医科学研究所にて HIV 感染症と臍帯血移植の研究に従事
- 2004年 同 FACS コアラボラトリーの運営担当
*医科研附属病院との共同研究で、抗 HLA 抗体とフローサイトメーターを使用したキメリズム解析法を開発し、本法が臍帯血移植後の生着不全や再発の診断に有用であることを示しました。
- 2009年 同 病態解析学領域 領域長
*全国の移植施設と共同してキメリズム解析法の実用化を進めています